

山武市の地名あれこれ ②



【**姫島**】(ひめしま) 旧成東町西部にある地名で、14世紀、後醍醐天皇の皇子護良親王の妃立花姫(一説には親王の息女)が鎌倉

から逃れて移り住んだのが由来です。そのほか、日本武尊に付き従ってきた侍女たちが住んだところから、「姫島」と名づけ、そのとき尊が滞在した地が**殿台**とする伝承もあります。

【**六万部**】(ろくまんぶ) 木戸川沿いの旧成東町柴原地区と松尾町水深の1帯は、かつては六万部と呼ばれていました。この地は葦が生



木戸川に架かる六万部橋

い茂る湿地帯で、大蛇の悪霊があると恐れられていたといわれています。平安時代初期、空海上人が全国行脚の折、ここで経を六万回唱えて蛇供養をしたことが地名の由来です。埼玉県久喜市や東京都足立区、静岡県函南町などにも「六万部」の地名が残り、同じような由来が伝えられています。

【**生子宿**】(はだかじゆく) 松尾町八田地区に珍しい読み方の地名があります。言い伝えによると、時代は定かではありませんが、銚子街道を旅していた女性が産気づき



JR総武本線成東—松尾間の踏切

この付近で子どもを産み、宿に着いたときはまだ裸だったことから「はだか」という名前がつけられたといえます。

■**読めない・読みにくい&ふしぎ・おもしろ地名**

市内には読めそうで読めない、おもしろ地名があります。地名の由来は謎に包まれています。さて、あなたはいくつ読めるかな。

【**木刀**】 芝山はにわ道に沿った松尾町地区にあり、「ぼくとう」とは読みません。↓きがたな

【**借毛本郷**】 木刀から南に下った松尾町地区にあります。ふしぎな名前です。↓かしけほんごう

【**金尾**】 千葉東金道路・松尾横芝インターの近く、松尾町地区にあります。↓かんのお

【**引越**】 松尾町地区の北部にある珍しい地名ですね。↓ひっこし

【**新泉**】 成東地区の国道126号



の北側にある地名で、九十九里七福神の毘沙門天を祀る「新泉観音堂」などがあります。↓にいのみ

【**弓手**】 山武地区日向台の南にあります。意味は、弓を持つほうの手、左手のことです。↓ゆんで



本須賀から南浜の海岸沿いは太平洋の荒波や塩害にも負けないハマヒルガオの群生地で、5~6月に浜辺はピンク色の花で敷き詰められます。

おすすめスポット
おハマヒルガオ

●参考文献：『成東町資料集』(特別編)『山武町史』『松尾町誕生50周年記念誌』『松尾町の歴史』『蓮沼村史』『角川日本地名大辞典』『成東の昔ばなし』『千葉県難読地名・珍しい地名』ほか『ポリネシア語で解く日本の地名』のウェブサイト